

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末年始は今治に滞在しました。今治タオルで有名になりましたので、みなさんもご存じではないでしょうか。

私の実家があるのは今治の沖にある大島という島です。高校には島から今治にフェリーと自転車通っていました。当時、フェリーは1時間に2〜3便出航していて、乗船時間は25分ほど。実家はフェリー乗り場から歩いて10分もかからない場所にあったので、今治に行くのはそれほど不便ではありませんでした。

しまなみ海道が完成し、数年後にフェリーは廃止になりました。橋がつながって便利になったように思われるかもしれませんが、我が家の場合は不便になってしまいました。今治と島を繋ぐバスは本数が少なく、さらに1時間に1本の島内路線バスに乗り換える必要があります。自転車ですまなみ海道を渡るのも、旅の思い出としては楽しいとおもいますが、橋までは急な登り坂で、橋の上は強い風が吹いており、日々の移動手段としてはかなりハードです。実家から今治へ行くのはとても難しくなっていました。

今治を散歩するのは、高校生以来です。久しぶりの街はすっかり様変わりしていました。

フェリー乗り場からつづく今治銀座商店街も、子供のころはそれなりに賑やかだったのですが、フェリー廃止の影響で、ここを通る人も少なくなってしまったのでしょうか、ずいぶん寂しくなっていました。唯一のデパートだった大丸も更地になっていました。

レンタサイクルでぶらぶらしながら、今治城へも行ってみました。小さい頃に、両親が「吹揚(ふきあげ)にいこう」と話していたシーンがよみがえってきました。吹揚とは今治城の別名です。春に花見にきていたのかもしれません。

今治城は海に面しているといっても良いくらい、海のすぐそばにたっています。お堀の水は海水をひいているそうです。小さなお城のわりに、お堀が広くて立派です。兜や地図などの展示をながめながら、天守の最上階の5階まであがりました。天守に登ったのは初めてかもしれません。海の向こうに大島がみえます。裏側へまわると、市街地を一望できます。眺望のよい日には石鎚山がみえるそうです。

少子化の影響で街が小さくなっていくのは寂しいですが、それでも日々、人々がこの地で生活し経済を動かし街を守ってくれているのだと思うと、とてもありがたい気持ちになりました。

よく「村上水軍(海賊)の末裔なの？」と聞かれることがあります。

以前、先祖のことを知りたくて除籍簿を取り寄せて調べたところ、祖父の兄が名字を「見崎」から「村上」に変更したことがわかりました。名字を変えた理由は誰もわからないのですが…海賊の末裔ではなさそうです。

2026年がみなさまにとっても、みなさまの施設をご利用されるユーザー様にとっても素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



天守と藤堂高虎公像



お堀が広いです



一番手前に見えるのが大島

今月も最後までお読みいただき
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。